

野の仏ギャラリー⑥

十一面観音坐像

東多久町納所

丸彫りの坐像で、方形の台上に安置されています。頭上に球状の十面と化仏があります。化仏は舟形光背を持ち、合掌しています。観音の頭髮が左右の肩に垂れ、表情は童顔で、額に白毫があります。左手に蓮の蕾と葉を持ち、右手を下げ与願印の形です。十一面観音は観世音菩薩の変化観音で、六観音の一つです。

銘「大正十五年 三月吉日 施主 合六トシ」



多久市郷土資料館長 藤井伸幸

○十一面観音は、頭上の十面と仏(化仏)で十一面になるのが基本です。
○白毫は仏の眉間に生える白い毛で光明を放ちます。
○与願印は衆生の願いをかなえますという印です。

今月の論語

威あれど猛からず

孔子さまは威厳があるがおそろしい感じはしない人であった。

今月の掃宅放送は、東原岸舎西溪校9年の山田理紗さんです

教育長コラム

ちよっとい話



「学校へ行こう」

いやなことがあるんだね
きつかったね

だけど 一生はながいけど

子どもじだいってみじかいんだ

子どもって

さきがいっぱいあるってことなんだ

なんだか

うらやましくなってきた

だって

これから

からださえもかえられるんだよ

できないことなんて

ひとつもない

学校だってたったの9ねんかん

なにかはじめよう

大人になったじぶんのために

学校へ行こう

じぶんのために

教育長 田原優子

市民文芸

彼岸花 咲く道を行く音もなく

野面を渡る風は吹かれて

川浪 信子

関白の夫も近頃丸みおび

「ありがとう」には笑顔で返す

梶原恵美子

明日には消えてなくなる命でも

あなたに会えて笑顔で終える

野崎 隆幸

何事も無かりし如き青い空

災害取材のへり遠ぶかる

浦野 嘉恵

女子マラソン五輪へ送るは五回目の

君の労苦を故郷で見守る

尾形 節子

一足を踏み入れてなほ虫時雨

倉成 皓二

寂声の祢宜の祝詞や 秋気澄む

富樫 明美

夕月に視線上げたる 埴輪の目

おおやはな

中嶋 清子

照る紅葉 生さる力の声を出し

武富 律子

満月や泣きし赤子を 縁に抱き

大谷 和

故里の風もみやげと 深呼吸

猪ノ口昭子

遠慮して暮す老婆の前か

西山 残月

改革の風は吹かない事な

松下山 修

モミジの手ママのおっぱい

一人占め

風うふうふう寝の妻を 撫でていく

三塩不二子

短歌 《麦の芽短歌会 互選》

俳句 《互選》

川柳 《多久川柳会 互選》